

第 2 回 淡路花博 25 周年事業実行委員会議事録

日 時：令和 6 年 6 月 28 日（金） 9:30～11:30

場 所：淡路夢舞台国際会議場 B1F イベントホール

出席者：別紙のとおり

司 会：籾課長

<結論>実施計画案については承認された。

○服部副知事あいさつ

- ・ 来年は、阪神淡路大震災から 30 年の節目を迎える。それと同時に、震災からの復興を世界に発信する役割を担ったジャパンフローラ 2000 の開催から 25 周年となり、これまでの 10 年、15 年、20 年の節目ごとに周年記念事業として開催してきた花みどりフェアは、今回その集大成となる。
- ・ 人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして、継承・発展させることにより、これまで育み、蓄積してきた取り組みや在来種による修景づくりなど、新たな潮流を世界に向けて、また国内にも向けて発信していきたい。
- ・ 実施にあたっては、花・みどりに関係する方々はもちろん、多彩な地域活動、農林水産関係、商工、観光、交通、広報など大変幅広い分野の皆さまのご協力が不可欠。本実行委員会にご参画いただいております関係の皆さまに改めて感謝申し上げます。
- ・ いよいよ、大阪・関西万博開催まで 300 日を切り、兵庫・関西に国内外から多くの方が訪れる絶好の機会となる。
- ・ 今回のフェアを万博のプレイベントとして位置づけ、メイン 3 会場のほか、ひょうごフィールドパビリオン含め 88 のサテライト会場において、多彩な体験イベント等企画している。
- ・ さらに県民提案イベントの実施や SNS での発信など、淡路島に人の流れを呼び込むためのブースター機能としての役割も果たすよう、しっかりと盛り上げていきたい。

○石村委員長あいさつ

- ・ 淡路島は近年メディアで多く取り上げていただき、そして関西圏からも近場というところで、非常に多くの方にお越しいただいて賑わっている。
- ・ 先日新聞の記事に明石海峡大橋 2023 年の通行台数が 1990 万台を超えたというニュースがあった。これはやはり観光地として淡路島が魅力あるところだということをお分かりいただき、多くの方に来ていただいている、その証ではないかなと思っている。
- ・ その魅力をさらに高めるために、来年の大阪・関西万博のプレイベントと位置付ける、

今回で集大成、最後となる花みどりフェアが、淡路島をアピールする絶好の機会であると考えている。

○議事

実施計画案説明（小山事業部長）

- ・実施計画案に沿って説明

<委員発言要旨>

○山陽電気鉄道株式会社 取締役常務執行役員鉄道事業本部長 増田委員

- ・淡路島に公共交通機関で行く際にはバスか船になるが、特に京阪神にお住まいの方はバスの乗り方に対する漠然とした不安があると思うので、広報やPRの中でバスの乗り方の説明なども充実してほしい。

→（事務局 小山事業部長）島内を走る全バスの路線をカバーして検索ができるサイト「バスモ」を活用したり、ホームページ、チラシなどでICカードの使い方等も詳しく広報することで、利用促進を図っていきたい。

○淡路ふるさと塾 塾頭 木村委員

- ・公共交通機関のバスを利用してもバスが動かない交通渋滞の中で、目的のところに行くのにどうしても時間がかかってしまうという状態が本当に心配。せっかくのイベントの機会なので、せめてバスだけでも優先的に動かせるような形を研究してみてもいい。

→（事務局 小山事業部長）淡路島の交通施策全般に関わることなので、今回すぐさま解消できるものではないと思うが、様々な形でバス会社や道路関係の方々と話をしているので、ひとつのきっかけとして今後も議論を我々の方からお願いしていきたい。

- ・交通対策として自転車について、自転車を車に乗せて淡路に駐車して周られる方の駐車場確保が必要。また安全に自転車に乗っていただきたいので、その部分の工夫も提案したい。

○淡路おみなの会 会長 投石委員

- ・食文化に関して、淡路島は他にはない郷土料理が結構ある。この企画の計画の中で淡路島の郷土料理を発信する場面はあるか。

→（事務局 小山事業部長）郷土料理についてはシマコレなどでも取り上げていきたいと思う。また、淡路島の中で食べられる花を使って頑張っていこうと考えていて、グランドニッコーさんにも相談をしている。今後、食関係のイベントの中では郷土料理についても話をしていきたいと思うので、個別にまた相談させていただきたい。

- ・LINE スタンプはいくらで購入できるのか。

→（事務局 小山事業部長）本当は皆さんにプレゼントしたかったが、LINE社の規定

で難しく販売という形になった。販売にあたってはLINEコインというもので払うことになっていて、50コインになる。LINEコインは何コイン購入するかによって1コインあたりの値段が変わってくるので、明確な金額が言えないが、基本的には120円くらいのベースになっている。

○認定特定非営利活動法人ソーシャルデザインセンター淡路 理事長 木田委員

- ・福祉的な視点が少し見えづらい。例えば会場で車椅子の方が来られたらこういうサービスがあるとか、そういうところに仕組みが見えるようにしてはどうか。
→（事務局 小山事業部長）会場運営計画を70ページ以降に記載している。例えば救護所、授乳室などを作り、ボランティアにもご協力をいただく。車椅子等福祉サービスについてできるようにハード面でも整備をしている。
- ・高校生や中学生、小学生が参加できるような、参加しているのが見えるような仕組みがもっとあってもいいと思う。（県民提案事業の）100万円を取りに行こうと思っているが、今、不登校引きこもりの支援をしていて、新聞紙のエコバッグを作るというのを連携してやっていこうとしている。例えば高齢者の人が集まるサロンで新聞紙のエコバッグを作って、それをメイン会場で皆さんにプレゼントするとかできないかと思ったりする。神戸新聞社と組んでまず花みどりフェアの記事を大きく作ってもらって、それをもとに高齢者の人や不登校の子どもたちとか、特別支援学校の方々などに作ってもらって、例えば会場で売っている淡路の玉ねぎなどを詰めておもてなしとしてお渡しするようなことができたらすごくいいのではと。そんな風に島民がちょっとそこに参加できたという体験があれば、もっとこの花みどりフェアが地元の人たちの中に広がっていくのかという気がする。
→（事務局 小山事業部長）子どもの面では大きなイベントとしてもキッズダンスコレクションや高校生の花壇などで参加いただく。地域全体としてはボランティアや会場外でもおもてなしといった面で協力いただきたいと考えているので今後仕立て上げていきたい。新聞によるエコバッグの話は非常に面白い取り組みと思うので、県民提案事業の一つの大きな目玉になるのではないかと感じている。中身の方もよく詰めていただいてご相談させていただきたい。
- ・多くのお客さんを島外からお迎えすることが多いが、三宮のバスターミナルが分からない。ぜひこの花みどりフェアの時に大きな看板をあげてほしいと思う。
→（事務局 小山事業部長）三宮駅については再開発でバス停を1ヶ所にまとめるという方向で動いていると思うが、来年3月に完成するわけではないので、特に花みどりフェアのメイン会場に行くものについては目立つようにバス会社ともよく連携しながら進めていきたい。
- ・メイン会場に来てから次に他の2会場へ行きたいと思ったときの交通に対しての手立てはあるか。

→（事務局 小山事業部長）各メイン会場を回るバスを前は仕立てていたが、利用率を見ると非常に乏しく、一気に3会場を回る方は非常に少ないと分析している。そこで、今回はメイン会場から近隣に回っていただけるような対策を充実した方がいいのではないかとということでレンタサイクルへの補助やレンタカーの利用のしやすさ、案内などを作っていくということを行っている。今後、3会場を巡りたいという要望については、旅行社の旅行造成・観光旅行の造成と共に検討していきたいと考えている。

○神戸新聞淡路総局長 和田委員

- ・新聞のエコバッグについて、弊社の販売店の店主さんでそういった活動をされている方がいる。新聞を使ったエコバッグの制作や希望者を集めた体験教室とかワークショップとかも各種イベントでやっていらっしゃるので、事務局の方がもし希望があれば間を繋いでご紹介することもできるのでいつでもお声がけください。神戸新聞のこの記事が表面に来るように作ったりという体験もできる。
- （事務局 小山事業部長）エコバッグについてはノベルティでも作ろうかと考えておりますので、どのくらいの強度があるのかも含めてぜひ紹介いただいて、これに関する広報とともにぜひご協力をいただきたい。
- ・説明された計画で宿泊される施設との連携がちょっと見えないというのがある。島外から訪れる方の話を聞くと「淡路島でなかなか宿泊予約がとれない」という声が多い。本当にどこも満室という訳ではなくて探せば見つかるということもあるかと思うが、ホームページなどで淡路島の宿泊施設の紹介みたいな形で日帰り帰ってしまうお客さんを1泊させてもう1日島にとどまらせるみたいな仕掛けがあってもいいかと思う。
- （事務局 小山事業部長）宿泊を伴って何か所も見ていただきたいし、メイン会場を1日、サテライト会場を次の日みたいなことも考えている。これはツアー造成ということで、旅行社と今話をしている。宿泊のトリバゴのようなページを作ることは難しいが、例えば観光協会と連携をとっていくなかで解消できればいいと考えている。今後検討していく。

○関西エアポート 渉外本部 地域連携部 部長 北林委員

- ・既に事務局と関空・伊丹・神戸空港での花博のPRということも事務レベルで色々と相談させていただいているが、関空だけでも従業員が空港の中1万5~6千人働いている。飛行機を利用するお客様だけでなく、空港の従業員も非常に広範囲から来ている方々もいるのでそういった方々に対しても見せていく工夫をしていきたい。
- （事務局 小山事業部長）関西エアポートさんには本当にお世話になっている。特に旅行者が必ず使うであろうトイレに花鉢を置いていただいて、そこに花博のロゴを入れていただいたりしている。多くの従業員の皆さん方に周知いただいて、聞かれたと

きに花博を紹介いただけるような施策をやっていきたい。

以上